平成24年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月13日

上場会社名　株式会社 ウエストホールディングス　　上場取引所　大
コード番号　1407　URL　http://www.west-gr.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役会長　(氏名) 吉川　隆
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役　管理統括本部管掌　(氏名) 永島　歳久　TEL 03-5358-5757

四半期報告書提出予定日　平成24年4月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年8月期第2四半期の連結業績(平成23年9月1日～平成24年2月29日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年8月期第2四半期	10,551	0.3	400	△39.0	278	△53.8	81	△77.5
23年8月期第2四半期	10,523	△10.0	655	6.6	604	△0.0	362	△31.6

(注)包括利益　24年8月期第2四半期　83百万円　(△77.5%)　23年8月期第2四半期　369百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年8月期第2四半期	6.04	5.99
23年8月期第2四半期	24.39	18.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年8月期第2四半期	16,218	2,903	17.7
23年8月期	15,268	3,088	20.0

(参考) 自己資本　24年8月期第2四半期　2,866百万円　23年8月期　3,051百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年8月期	―	0.00	―	30.00	30.00
24年8月期	―	0.00			
24年8月期(予想)			―	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年8月期の連結業績予想(平成23年9月1日～平成24年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,400	47.3	2,030	32.3	1,810	37.1	1,030	2.4	76.40

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年8月期2Q	13,533,600 株	23年8月期	8,987,600 株
② 期末自己株式数	24年8月期2Q	2,200 株	23年8月期	50 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年8月期2Q	13,494,172 株	23年8月期2Q	8,700,925 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「経営成績に関する分析」をご覧ください。
・平成23年9月1日付けで普通株式1株につき普通株式1.5株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（５）セグメント情報等 …… 11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 12
（７）重要な後発事象 …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における我が国経済は、依然として緩やかなデフレ状況にあり、また欧州における政府債務問題や、金融資本市場の不安による世界的な景気後退の懸念が深刻化してきた影響もあり、先行き不透明なままで推移しました。

当社グループは、本年７月１日から実施される太陽光発電を始めとした「再生可能エネルギーの全量買取制度」により、産業用太陽光発電システムの需要が飛躍的に拡大することを見込んで、経営資源を成長分野である太陽光発電システムを取り扱うグリーンエネルギー事業の強化に集中してまいりました。

この結果、同事業への初期投資が嵩んだため、当第２四半期連結累計期間における当社グループの売上高は105億51百万円（前年同四半期比0.3％増）を計上したものの、営業利益は４億円（前年同四半期比39.0％減）、経常利益は２億78百万円（前年同四半期比53.8％減）となり、四半期純利益は81百万円（前年同四半期比77.5％減）にとどまりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

① グリーンエネルギー事業

グリーンエネルギー事業を取り巻く経営環境及び市場は、成長性が高い一方で、激しく変化してきております。特に住宅用太陽光発電システム事業は、国内市場における競争激化、主要部材である太陽電池モジュールの大幅な価格下落等により、当社グループの販売単価も低下いたしました。

以上の結果、売上高は91億７百万円（前年同四半期比6.9％増）、営業利益は４億50百万円（前年同四半期比32.2％減）となりました。

② エコリフォーム事業

エコリフォーム事業については、提携先住宅ストック、リフォームＯＢ顧客に対して、省エネ・創エネ・蓄エネに直結するスマートハウス化の提案営業を推進してまいりました。

以上の結果、売上高は14億37百万円（前年同四半期比27.1％減）、営業利益は２億27百万円（前年同四半期比15.6％減）となりました。

③ その他の事業

売上高７百万円（前年同四半期比77.9％減）、営業利益６百万円（前年同四半期比71.2％減）を計上しております。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（１）資産・負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、９億50百万円増加し、162億18百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末比11億35百万円増加し、133億14百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末比１億84百万円減少し29億３百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

（資産）

資産の増加の主な要因は、現金及び預金の増加６億14百万円、商品在庫の増加１億３百万円及び合弁会社の設立による投資有価証券の増加２億50百万円によるものであります。

（負債）

負債の増加の主な要因は、運転資金の拡充に備え借入金及び社債が19億68百万円増加し、支払手形及び買掛金、工事未払金が支払を主因として合計９億13百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

純資産の減少は、四半期純利益を81百万円計上した一方、配当金の支払２億69百万円によるものであります。

（２）キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度に比べ３億42百万円増加し、59億３百万円となりました。

当第２四半期連結会計期間末に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は７億32百万円（前年同四半期は16億22百万円の支出）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益を２億78百万円計上したことや仕入債務の減少８億90百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は５億75百万円（前年同四半期は41百万円の収入）となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出２億73百万円および定期預金の預入による支出３億５百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は16億51百万円（前年同四半期は２億41百万円の収入）となりました。主な要因は、借入金及び社債が19億62百万円増加、配当金の支払額２億66百万円によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年８月期の連結業績予想につきましては、第２四半期の業績等を考慮して、平成23年10月14日付「平成23年８月期　決算短信」で発表いたしました数値を変更しております。詳細は、平成24年４月12日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、第２四半期連結会計期間より、株式会社POWERWAY・JAPANを新たに設立し連結の範囲に含めているため連結の範囲の変更はありましたが、特定子会社には該当いたしません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

第１四半期連結会計期間より、「１株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第２号　平成22年６月30日）、「１株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第４号　平成22年６月30日）及び「１株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第９号　平成22年６月30日）を適用しております。この適用により、第１四半期連結会計期間に行った株式分割は、前連結会計年度の期首に行われたと仮定して１株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益を算定しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の、前第２四半期連結累計期間の１株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後１株当たり四半期純利益は、以下のとおりです。

１株当たり四半期純利益	36円59銭
潜在株式調整後１株当たり四半期純利益	28円22銭

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

(法人税率の変更等による影響)

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月２日に公布され、平成24年４月１日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。

これに伴い、平成24年９月１日から開始する連結会計年度以降において解消が見込まれる一時差異については、繰延税金資産及び繰延税金負債を計算する法定実効税率が40.7%から38.0%に変更されます。また、平成27年９月１日から開始する連結会計年度以降において解消が見込まれる一時差異については、繰延税金資産及び繰延税金負債を計算する法定実効税率が38.0%から35.6%に変更されます。

この税率変更により、当第２四半期連結会計期間末における一時差異等を基礎として再計算した場合、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）が4,030千円減少し、法人税等調整額が同額増加しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年８月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年２月29日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,085,075	6,699,143
受取手形及び売掛金	963,580	567,835
完成工事未収入金	1,989,184	2,324,275
商品	1,633,358	1,736,450
販売用不動産	88,610	88,610
未成工事支出金	－	5,250
貯蔵品	2,007	2,368
繰延税金資産	352,417	303,234
その他	702,847	874,540
貸倒引当金	△34,490	△32,962
流動資産合計	11,782,590	12,568,747
固定資産		
有形固定資産	1,955,433	1,929,092
無形固定資産		
のれん	390,290	277,302
その他	126,374	123,584
無形固定資産合計	516,664	400,886
投資その他の資産		
投資有価証券	418,939	669,465
長期貸付金	104,670	105,186
繰延税金資産	42,412	52,215
その他	754,383	802,119
貸倒引当金	△306,873	△308,908
投資その他の資産合計	1,013,533	1,320,077
固定資産合計	3,485,631	3,650,057
資産合計	15,268,222	16,218,805

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年８月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年２月29日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,905,512	1,837,877
工事未払金	1,426,902	581,481
1年内償還予定の社債	―	177,000
短期借入金	3,689,440	5,280,234
未払法人税等	96,953	103,719
賞与引当金	28,000	23,690
その他	1,082,781	1,183,270
流動負債合計	8,229,589	9,187,273
固定負債		
社債	―	423,000
長期借入金	3,819,637	3,597,802
資産除去債務	10,219	11,012
その他	120,475	95,869
固定負債合計	3,950,332	4,127,684
負債合計	12,179,921	13,314,957
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,015,520	2,017,589
資本剰余金	722,748	724,817
利益剰余金	343,697	155,590
自己株式	△33	△1,673
株主資本合計	3,081,932	2,896,323
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△30,322	△29,723
その他の包括利益累計額合計	△30,322	△29,723
新株予約権	1,359	980
少数株主持分	35,331	36,267
純資産合計	3,088,301	2,903,847
負債純資産合計	15,268,222	16,218,805

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年２月28日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年９月１日 至　平成24年２月29日）
売上高	10,523,627	10,551,837
売上原価	7,283,404	7,296,399
売上総利益	3,240,222	3,255,438
販売費及び一般管理費	2,584,558	2,855,210
営業利益	655,664	400,227
営業外収益		
受取利息	1,797	1,810
受取配当金	2,717	2,800
受取手数料	－	17,570
持分法による投資利益	2,092	－
その他	6,067	5,406
営業外収益合計	12,675	27,588
営業外費用		
支払利息	61,188	77,602
持分法による投資損失	－	14,524
シンジケートローン手数料	－	32,391
その他	3,020	24,361
営業外費用合計	64,208	148,880
経常利益	604,131	278,936
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,322	－
投資有価証券売却益	430	－
新株予約権戻入益	226	－
負ののれん発生益	1,077	－
特別利益合計	5,057	－
特別損失		
投資有価証券評価損	－	499
貸倒損失	6,259	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,434	－
特別損失合計	8,694	499
税金等調整前四半期純利益	600,493	278,436
法人税、住民税及び事業税	79,634	156,601
法人税等調整額	160,509	39,380
法人税等合計	240,143	195,981
少数株主損益調整前四半期純利益	360,350	82,455
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△2,635	935
四半期純利益	362,985	81,519

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年２月28日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年９月１日 至　平成24年２月29日）
少数株主損益調整前四半期純利益	360,350	82,455
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,314	599
その他の包括利益合計	9,314	599
四半期包括利益	369,664	83,054
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	372,299	82,118
少数株主に係る四半期包括利益	△2,635	935

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年２月28日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年９月１日 至　平成24年２月29日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	600,493	278,436
減価償却費	72,898	79,848
のれん償却額	112,646	112,646
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,434	－
賞与引当金の増減額（△は減少）	△4,270	△4,309
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△396,873	507
受取利息及び受取配当金	△4,515	△4,611
支払利息	61,188	77,602
シンジケートローン手数料	－	32,391
株式交付費	993	234
負ののれん発生益	△1,077	－
新株予約権戻入益	△226	－
投資有価証券評価損益（△は益）	－	499
投資有価証券売却及び評価損益（△は益）	△430	－
貸倒損失	6,259	－
売上債権の増減額（△は増加）	56,379	12,397
たな卸資産の増減額（△は増加）	△174,252	△112,355
前渡金の増減額（△は増加）	△25,260	△112,454
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,021,748	△890,953
未成工事受入金の増減額（△は減少）	△7,966	44,633
未払金の増減額（△は減少）	△59,022	△21,545
前受金の増減額（△は減少）	82,038	29,411
その他	285,541	△28,289
小計	△1,414,769	△505,909
利息及び配当金の受取額	5,274	3,949
利息の支払額	△59,430	△79,257
法人税等の支払額	△153,175	△151,101
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,622,099	△732,319

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年９月１日 至　平成23年２月28日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年９月１日 至　平成24年２月29日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	1,174	12,200
投資有価証券の取得による支出	－	△273,500
有形固定資産の取得による支出	△5,249	△15,963
無形固定資産の取得による支出	△800	△13,000
定期預金の払戻による収入	300,167	34,000
定期預金の預入による支出	△358,357	△305,078
敷金及び保証金の回収による収入	101,445	12,675
敷金及び保証金の差入による支出	△11,299	△10,652
短期貸付金の回収による収入	22,730	35,732
短期貸付けによる支出	△18,300	△10,800
長期貸付金の回収による収入	27,018	22,821
長期貸付けによる支出	△15,080	△17,130
子会社株式の取得による支出	△2,500	－
保険積立金の積立による支出	－	△51,961
その他	490	4,760
投資活動によるキャッシュ・フロー	41,440	△575,896
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△291,906	1,222,200
長期借入れによる収入	2,087,510	1,800,000
長期借入金の返済による支出	△1,246,364	△1,653,241
社債の発行による収入	－	593,375
株式の発行による収入	33,790	3,470
自己株式の取得による支出	△33	△1,639
少数株主からの払込みによる収入	6,000	－
配当金の支払額	△342,821	△266,895
シンジケートローン手数料の支払額	－	△32,224
リース債務の返済による支出	△4,822	△13,839
財務活動によるキャッシュ・フロー	241,353	1,651,205
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,339,305	342,989
現金及び現金同等物の期首残高	5,398,470	5,560,180
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,059,165	5,903,170

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間(自 平成22年９月１日 至 平成23年２月28日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	エコリフォーム事業	グリーンエネルギー事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,970,411	8,520,693	10,491,105	32,521	10,523,627
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	1,970,411	8,520,693	10,491,105	32,521	10,523,627
セグメント利益	270,101	664,557	934,659	22,495	957,155

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、戸建住宅の施工販売、建材業者への材料販売等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	934,659
「その他」の区分の利益	22,495
セグメント間取引消去	―
全社費用(注)	△301,491
棚卸資産の調整額	―
四半期連結損益計算書の営業利益	655,664

(注) 全社費用は、主に当社グループ管理部門に係る費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間(自 平成23年９月１日 至 平成24年２月29日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	エコリフォーム事業	グリーンエネルギー事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,437,120	9,107,517	10,544,637	7,200	10,551,837
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	1,437,120	9,107,517	10,544,637	7,200	10,551,837
セグメント利益	227,932	450,621	678,553	6,477	685,031

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建材業者への材料販売等を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	678,553
「その他」の区分の利益	6,477
セグメント間取引消去	―
全社費用(注)	△284,803
棚卸資産の調整額	―
四半期連結損益計算書の営業利益	400,227

(注) 全社費用は、主に当社グループ管理部門に係る費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。